

第3回行財政改革審議会でごいただいたご意見について

1. 大綱及び実施計画の個別の取組方針に関するご意見

大項目	中項目	ご意見の内容
(1) 効率的・効果的な 行財政運営	① 適正な事務事業の実施	○事務事業の見直しにおいて、客観的なデータを用いて政策立案することが必要になってきており、国ではEBPMが推進されているので、このことを大綱のなかに記載できないか。
	③ DXの推進による業務の 効率化	○デジタルデバインド(インターネットや各種情報端末等のデジタル技術を使える人と、そうでない人の間に生じる様々な格差)の対策を講じていく必要があるのではないかと。 ○DXの推進は、業務の効率化だけでなく、市民サービスの向上につながっているため、そのことを項目に入れてはどうか。
	④ 外郭団体	○この項目は単語で終わっているため、他の項目の書きぶりと同様にそろえたほうが良いのではないかと。 ○「公共施設のあり方指針」には出雲市土地開発公社のことが出てこないため、どこかに記載することができないか。
(3) 組織体制の充実と 人材育成	② 人材育成と働きやすい職 場環境	【人材育成】 ○人材育成という観点からの意見聴取が手薄な感じがするので、もう少し方法を検討してはどうか。 ※職員提案制度の活性化など ○高い専門性を持った人材を育成する必要があるのではないかと。 ※専門性を発揮できる職場環境など ○人材育成に関する取組として、行政間の人事交流はもちろんのこと、民間との人事交流を入れてはどうか。 【働きやすい職場環境】 ○働きやすい職場環境の整備に関する取組として、在宅ワーク(テレワーク)の取組を入れてはどうか。 ○子育て世代の職員が働きやすい職場をつくるために必要なことを検討する仕組み(グループを作って検討するなど)があってもいいのではないかと。
(4) 財源の確保と債務 の抑制	① 使用料・手数料の見直し ② 財源の確保 ③ 起債の抑制	○掲載する順番を大項目に合わせて、①財源の確保、②起債の抑制、③使用料・手数料の見直しにしたほうがよいのではないかと。

2. その他のご意見

項目	ご意見の内容
地域と行政の関わり	○これまで地域でやってきたことが、できなくなっているため、あまり活動実績のない既存団体のあり方など、お金の部分だけでなく、こうしたことにも見直しをしていく必要があるのではないかと。 ○合併して20年近くが経過するので、旧市町単位で物事を考えることは止めにして、出雲市全体の視点に立って物事を考えていく必要があるのではないかと。 ○行財政改革が進むことによって、職員がスリム化されるが、このことによって住民との関係が希薄になってきている。例えばコミュニティセンターは行政機関のような位置付けになっているところもあり、今後のあり方、位置付けなどを考えていく必要があるのではないかと。